

二輪車安全運転宮城県大会競技等実施要領

一般社団法人宮城県交通安全協会
宮城県二輪車安全運転推進委員会

二輪車安全運転宮城県大会の競技の方法、採点等は本要領の定めるところにより実施する。
なお、本要領に定めのないものは審判長と審判総括責任者が協議するものとする。

第1 競技方法

1 競技内容

(1) 法規履行走行

法規履行コースで、法規の履行状況を採点する。

(2) 技能走行

○ 技能コースに設けた5課題について採点する。

○ 1課題、1トライ制とする。

※ 競技車両は競技者の持込み車両とする。

※ 選手の過失による走行不能(車両故障、傷病)、指示違反及び課題不履行があった場合には、当該課題は失格とする。

※ 天候等の状況により競技内容を変更することがある。

2 競技の進行

クラス単位で4つのグループを編成し、運転免許試験コースにおける法規履行走行と特設コースにおける技能走行(応用千鳥、コーススラローム、ブレーキング、ストレート・ブリッジ、レムニー走行の5課題)を交互に実施する。

3 配点

法規履行走行 500点(最大減点500点)

技能走行 500点(1課題100点×5課題)

合計 1,000点

4 成績順位

各選手の持ち点1,000点から、採点基準により減点し、総点数の多い者を上位とする。

5 各競技のスタート、ゴール時の留意点

(1) スタートの準備

各競技を開始するに当たり、審判員は選手が冷静かつ充実した心構えで実力を十分発揮し、かつ、競技を円滑に進行するため、規律と節度ある行動についての注意、服装等の点検を行う。

(2) スタートの手順

○ スタート地点に競技車両を順序よく並べる。

○ ゼッケン番号順に整列する。

○ 審判員は氏名、ゼッケン番号を確認する。

○ 車両のブレーキ、クラッチ、エンジンの調子等を確認する。

○ 審判員の指示に従い発進位置に待機する。

○ 審判員の指示に従いスタートする。

(3) ゴールの手順

停止位置において正しく停止した後、審判員が指示した地点に移動してエンジンを止めて採点表に採点を受け、次の課題に移動する。

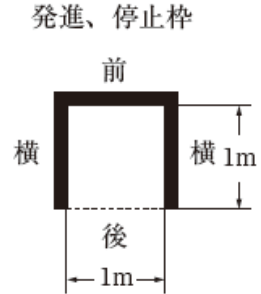
6 その他

転倒等のため、車両に調子不良、故障等が生じた場合は速やかに審判員に報告する。

第2 採点基準共通事項

1 指示違反

- (1) 審判員の合図でスタートしない。
- (2) 発進（停止）時に発進（停止）枠の側線を踏んだ
（前輪又は後輪の接地面）
- (3) 発進、停止枠外停止
 - 前：前輪の先端が停止線の先端を越えた。
 - 横：前輪の接地面が側線に触れた。
 - 後：前輪の先端が少しでも枠内に入っていればよい。
- (4) その他 審判の指示に従わない。



2 足つき

車両が動いている状態で左右いずれかの足を着いた。

3 両足ばなれ

走行中両足がステップから離れた。

4 片足ばなれ

走行中、左右いずれかの足がステップから離れた。
（ただし、停止位置から2メートル以内の左足ばなれは除く。）

5 右足ささえ

発進時、停止時に右足又は両足着地した。

6 エンスト

発進時又は走行中にエンストした。

7 安全確認

- 右後方を目視で確認しない。
- 安全確認後発進を中断したのにもかかわらず、再発進時に確認しない。

第3 法規履行走行の採点基準及びコース

法規履行走行が行われるコースで、法規履行能力、とりわけ一時停止、進路変更、合図、右左折等を採点する。

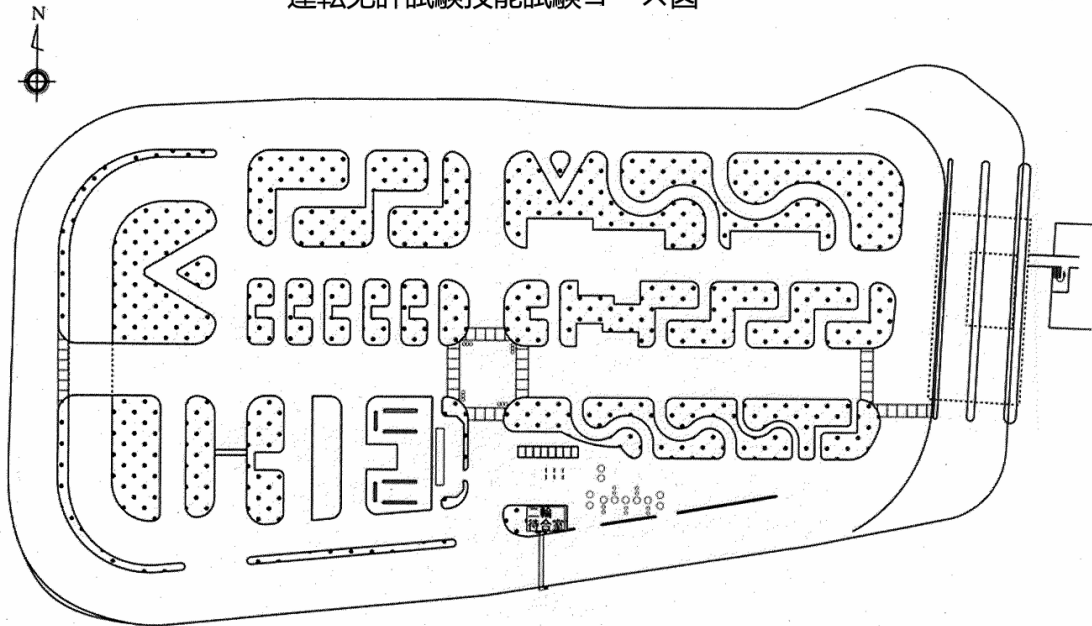
〈採点基準〉

(最大減点500点)

減点500	減点100	減点50	減点30	減点15
転倒 指示違反	脱輪 一時不停止 踏切不停止 右側通行 信号無視 進行妨害 歩行者保護 (不停止)	安全不確認 交差点変更不適 優先判断不適 徐行不履行 側方間隔不適 右足ささえ コース誤り 発進枠側線踏み 停止枠外停止	合図しない 右左折方法不適 アクセルむら 急ハンドル ふらつき (バランス) 駐停車方法不適	合図（戻し・不適） 安全装置 (ミラ・スタンド) 乗車姿勢不適 エンスト 発進手間取り 速度維持不適 停止位置不適

※ ここに定める採点基準は、競技会の趣旨と運営に沿って作成したもので、運転免許試験における技能検定のものとは異なる。

運転免許試験技能試験コース図



※ コース取りについては当日支持し、競技開始前に試走するものとする。

第4 技能走行の採点基準

1 技能走行の種目と採点基準

	減点100	減点50	減点30	減点10	減点1
技能走行 共通	転倒 指示違反	安全不確認 発進枠側線踏み 停止枠外停止	発進手間取り 両足ばなれ 足つき(1回)	片足ばなれ 右足つき エンスト(1回)	

- 安全不確認 : 発進位置から発進時及び、停止位置からの再発進時に右後方を目視で確認しない。(コース内は除く)
- 発進手間取り : 審判のスタート指示に対して速やかに(3秒程度)スタートしない。
- 両足ばなれ : 走行中両足がステップから離れた。
- 足つき : 左右いずれかの足をついた回数をカウント。
- 片足ばなれ : 走行中、左右いずれかの足がステップから離れた。
(ただし、停止位置から2m以内の左足ばなれは除く)
- 右足つき : スタート時/ゴール時に右足又は両足着地した。
- エンスト : スタートからゴールまでの間にエンストした回数をカウント。
(ブレーキングの制動区間除く)

	減点100	減点50	減点30	減点10	減点1
応用千鳥	コースアウト	足ささえ (1回につき)	車体接地(1回) パイロン接触 (1本)		

コース スラローム	コースアウト (両輪)	コースアウト (方輪1回)	運転姿勢 車体接地(1回) 車体ロック(前輪) パイロン接触 (1本)		基準タイム不足 (0.1秒毎に)
ブレーキング	コースアウト (コース幅オーバー) 指示速度不足 6.0km/h超)	指示速度不足 3.0km/h超～ 6.0km/h以下 車輪ロック (2m以上)	運転姿勢 指示速度不足 3.0km/h以下	停止基準距離 オーバー:0.5 Mごとに ※エンストは 制動区間除く	

	減点40	減点20	減点10	減点5	減点1
ストレー ト・ ブリッジ (一本橋走行)	足つき 脱輪 転倒 指示違反	安全不確認	両足ばなれ (1回につき)	片足ばなれ (1回につき) 右足ささえ エンスト (1回につき) 15秒に達しない場合一秒ごと	
レムニー走行 (8の字走行)	Cゾーンオーバー 転倒 指示違反	Bゾーンオーバー 安全不確認 足ささえ (1回につき)	Aゾーンオーバー 両足ばなれ 足つき (1回につき)	片足ばなれ 右足ささえ パイロン接触・ 倒し (1本につき) エンスト (1回につき)	

2 応用千鳥

(最大減点100点)

随所にゲートが設けられ車体の傾斜角が制限された狭小コースを安全かつ的確に通過できる、「バランス」運転技能向上をねらいに設けられた課題。

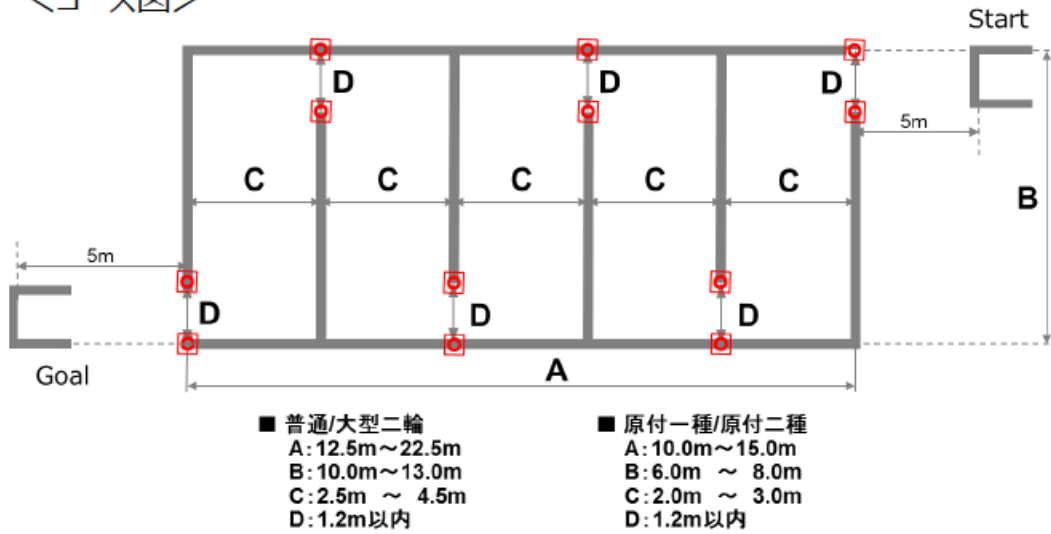
〈走り方〉

- ① 発進位置において正しい姿勢で停止し、審判員の合図で後方の安全を確認し発進する。
- ② 課題の入口から出口までの間に設けられたパイロン、マーカーなどに接触しないように走行する。
- ③ 停止位置で停止し、審判員のチェックを受け指示に従う。

〈その他〉

- ① 基準タイム：設定なし
- ② 車両が停止又は、後退した状態での足つきは、「足ささえ」とする。
- ③ コース幅、ゲート幅は指定寸法内で変化する。

<コース図>



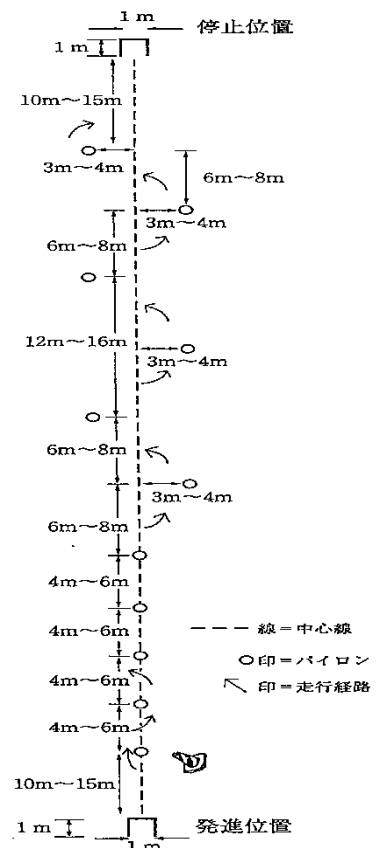
3 コーススラローム (最大減点100点)

左右に連続する大小のカーブを正しい運転姿勢で安全かつ円滑に操縦できる、「走る」「曲がる」「止まる」の総合的な運転技能向上をねらいに設けられた課題。

〈走り方〉

- ① 発進位置において正しい姿勢で停止し、審判員の合図で後方の安全を確認し発進する。
- ② 指定コースを的確に判断し、アクセル、ブレーキ、クラッチ等を必要に応じてコントロールしながら走行する。
- ③ 進路は変化に富んでいるので、視線はできる限り前方に向け、常に先を読みながらハンドルを操作する。
- ④ 停止位置で停止し、審判員のチェックを受け指示に従う。

<コース図例>



4 ブレーキング (制動) (最大減点100点)

指定された速度・位置から制動を開始し、停止基準距離内で安定して停止することができる、「止まる」運転技能向上をねらいに設けられた課題。

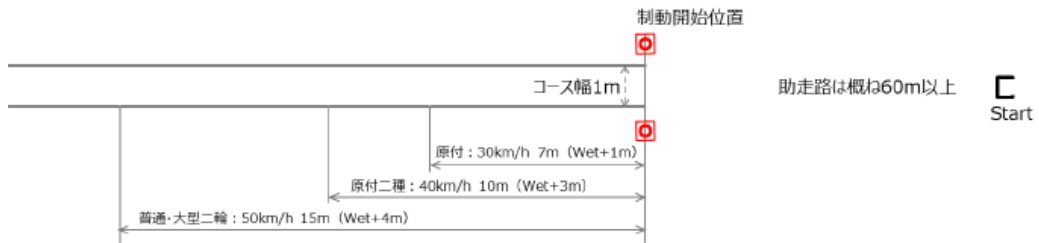
〈走り方〉

- ① 発進位置において正しい姿勢で停止し、審判員の合図で後方の安全を確認し発進する。
- ② スタートギアは1速とする。
- ③ 助走路の前半で素早く変速加速し、後半で指示速度に合わせ車を安定させる。
なお、ギアは3速以上とする。
- ④ 制動開始位置から制動を開始する。
- ⑤ 車輪をロックさせないで、停止基準距離内で停止する。
- ⑥ 車を完全に停止させ、左足で着地する。
- ⑦ 停止位置で審判員のチェックを受け、指示に従う。

〈その他〉

- ① ブレーキ開始が明らかに早い、助走路でレバーに指がかかっている、また、ギアが2速以下で進入した場合は指示違反とする。
- ② 距離の測定は前輪の先端で計測する。
(0.5m単位で計測し切上げとする：例 10.1m⇒10.5m 9.8m⇒10.0m)
- ③ 車輪ロック 2m以上は、後輪ロックのみが対象。

〈コース図〉



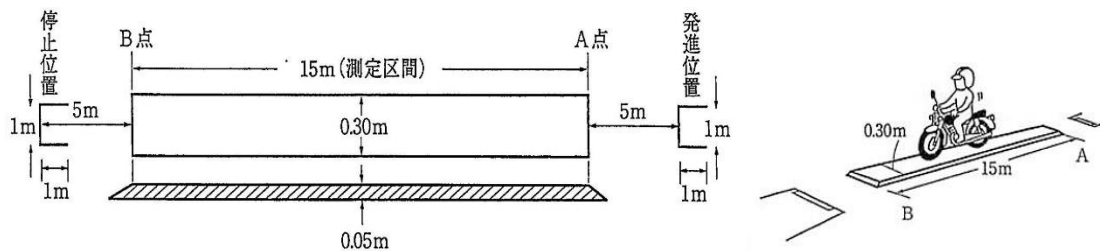
5 ストレート・ブリッジ (一本橋走行) (最大減点100点)

狭い道路を低速で走行し、その際ふらつかないで左右のバランスを取り、低速で安全に走行する運転技能向上をねらいに設けられた課題。

〈走り方〉

- ① 発進位置において正しい姿勢で停止し (ギアは1速)、審判員の合図で後方の安全を確認し発進する。運転姿勢は着座姿勢とする。
- ② 車輪が一本橋にのったら、半クラッチ等を使いながら安定よくなめらかに走行する。
- ③ 速度が出すぎたときは、後輪ブレーキで調整する。
- ④ バランスは全身とハンドル操作でコントロールする。
- ⑤ 視点は一点に置かず、一本橋上を前方、手前と移動させる。
- ⑥ 停止位置で審判員のチェックを受け、指示に従う。

〈コース図例〉



〈その他〉

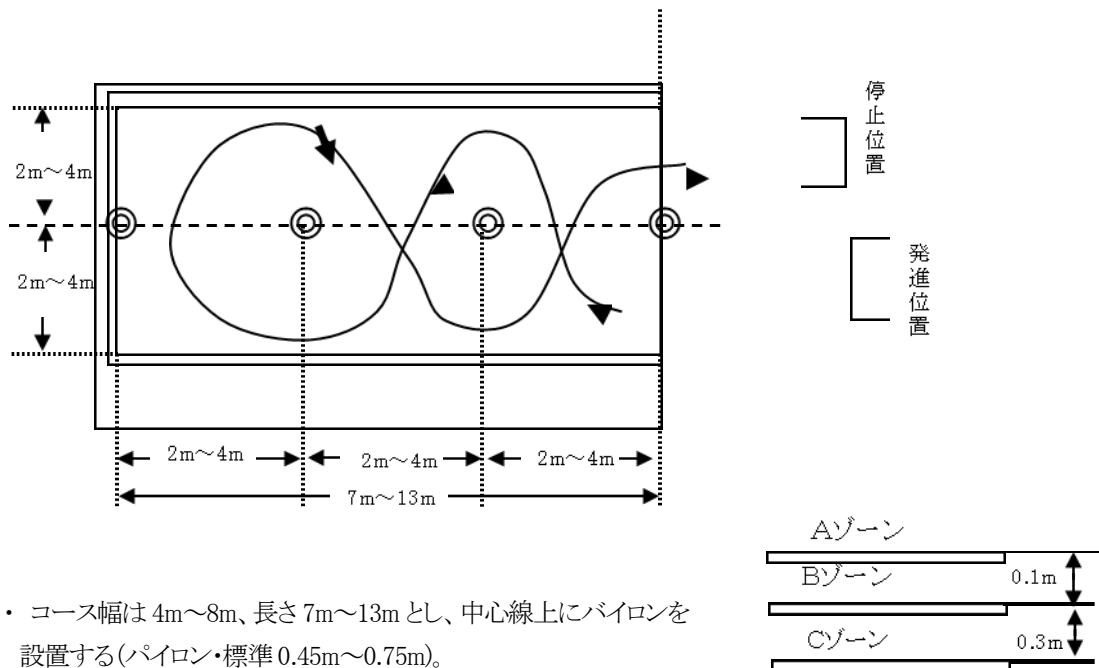
タイムの測定は、前輪の車軸がA点に入ったときから前輪の車軸がB点を通り過ぎるまでとする。

6 レムニー走行（8の字走行） (最大減点100点)

勾配のついた路面でのバランス保持と、路面と車体の傾きを考えた走行ができる「バランス」運転技能向上をねらいに設けられた課題。

(走り方)

- ① 発進位置において正しい姿勢で停止し（ギアは1速）、審判員の合図で後方の安全を確認し発進する。
- ② なめらかに発進し、発進後の立座、着座、中腰等の姿勢は自由とする。
- ③ パイロンを旋回するときは外側の足に体重（左旋回＝右足、右旋回＝左足）をかけ、車体の傾きをコントロールする
- ④ 最初のパイロンから次のパイロンへ移るときはの切り返しは、体重の移動とアクセルのコントロールなどでバランスを取る。
- ⑤ 姿勢はリーンアウトの姿勢が適している。
- ⑥ ギアは全コース1速で走る。
- ⑦ コースは登降坂コースを走行するため、アクセルコントロール、ブレーキ、クラッチを使い速度をコントロールしながら走行する。
- ⑧ 停止位置で停止し、審判員のチェックを受け指示に従う。



- ・ コース幅は4m～8m、長さ7m～13mとし、中心線上にパイロンを設置する(パイロン・標準0.45m～0.75m)。
- ・ Bゾーンの間隔を0.1mとする。
Cゾーンの間隔は0.3mとする。

※ コースの設定の寸法は各クラス毎に変更する。
 ※ 天候等によりゾーン間隔等を変更することがある。